

記入例

採用

研究・教育・管理運営及び社会的活動等に係る業績一覧、今後の計画 及び 抱負

1. 研究業績

①学会誌・学術誌・紀要等所載の論文

A：国際的学会誌・学術誌所載論文					
発表年月	論文名	共同執筆の場合		発表誌名 (巻・号・頁)	発行機関又は 発行所名
		総人数	役割		
2007年 3月	※・・・・・・・・・・・・・・・・	7人	b(15%)	・・・・・・・・ (第○巻・○号・ ○○～○○)	・・・学会
2009年 10月	※・・・・・・・・・・・・・・・・	11人	a	・・・・・・・・ (第○巻・○号・ ○○～○○)	・・・学会
発表年月日の早い (古い)ものから 順に西暦(○○○ ○年○月)で記載。 (以下、全ての項 目・業績について も同様) レフリー(査読者) のある機関誌等に 掲載された論文 は、論文名の前に ※を付すこと。 (以下①B～E同 様) 「役割」の欄には、a、bのいずれかの記号を 記入する。記号aは本人がファーストオーサー 又は執筆責任者、bはその他であることを意味 する。bと記入した場合には記号の後に貢献度 を%で示すこと。					
B：全国的学会誌・学術誌所載論文					
発表年月	論文名	共同執筆の場合		発表誌名 (巻・号・頁)	発行機関又は 発行所名
		総人数	役割		
2010年 3月	※・・・・・・・・・・・・・・・・	2人	a	・・・・・・・・ (第○巻・○号・ ○○～○○)	・・・学会
C：大学(学部)紀要論文					
発表年月	論文名	共同執筆の場合		発表誌名 (巻・号・頁)	発行機関又は 発行所名
		総人数	役割		
2002年 3月	・・・・・・・・・・・・・・・・	5人	a	・・・・・・・・ (第○巻・○号・ ○○～○○)	・・・大学

愛教 太郎

2005 年 3 月		6 人	b(20%)	 (第○巻・○号・ ○○～○○)	・・・大学
2010 年 3 月		2 人	b(20%)	 (第○巻・○号・ ○○～○○)	・・・大学

D：地方的学会誌，大学附置施設・センター等紀要論文，講座等発行機関誌，大学以外の研究機関等紀要論文，当該分野で学術的価値が高く評価される公的機関誌所載論文

発表年月	論 文 名	共同執筆の場合		発 表 誌 名 (巻・号・頁)	発行機関又は 発 行 所 名
		総人数	役割		

E：(市販)啓発誌所載論文，高等学校等紀要論文

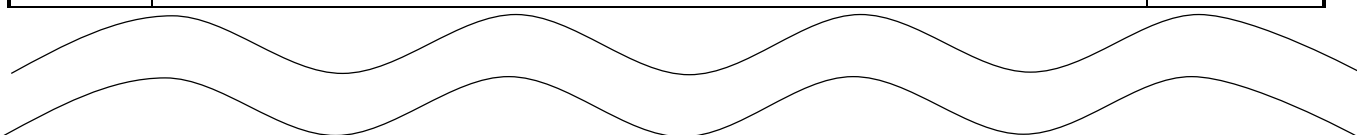
発表年月	論 文 名	共同執筆の場合		発 表 誌 名 (巻・号・頁)	発行機関又は 発 行 所 名
		総人数	役割		

業績がない場合は，空欄（1行）とする。

②学術書単著，学術書等所載の論文

A：学術書単著（ISBN 付・一人で新たに書き下ろしたもの）

発表年月	書 籍 名	発行機関又は 発 行 所 名



--	--	--

⑦実技・作品発表

A：【国際的規模】a. 最高賞受賞・優勝

発表年月	発 表 題 目	共同の場合		受賞・会友・資格その他	発行機関又は 機 関 名
		総人数	役割		
2004 年 8 月		5 人	a	○○賞・第○回○○○大会	○○連盟

受賞名，大会名等を記載する。

愛教 太郎

A : 【国際的規模】 b. 入賞・ファイナリスト					
発表年月	発表題目	共同の場合		受賞・会友・資格その他	発行機関又は 機 関 名
		総人数	役割		
A : 【国際的規模】 c. 最高賞受賞・優勝・入賞・ファイナリスト以外のもの					
発表年月	発表題目	共同の場合		受賞・会友・資格その他	発行機関又は 機 関 名
		総人数	役割		
2005 年 7 月	・・・・・・・・・・・・・・・・			優勝・第〇回〇〇フェスティバル	〇〇連盟
B : 【全国的規模】 a. 最高賞受賞・優勝					
発表年月	発表題目	共同の場合		受賞・会友・資格その他	発行機関又は 機 関 名
		総人数	役割		

--	--	--	--	--	--

⑧口頭・ポスター発表

A : 【国際的規模】 発表実績				
発表年月	発表題目	共同の場合は 代表者名と総人数	学会，研究会名	発表場所
2002 年 8 月	・・・・・・・・・・・・・・・・	〇〇 〇〇 〇人	〇〇学会 第〇回総会	〇〇大学
2003 年 2 月	・・・・・・・・・・・・・・・・	〇〇 〇〇 〇人	〇〇学会 第〇回大会	〇〇国際会議場

学会名，研究会名，大会等を記載する。

--	--	--	--	--

⑩学位（博士）

年 月	論 文 名	授 与 機 関
2007 年 3 月	・・・・・・・・・・・・・・・・	〇〇大学

愛教 太郎

⑪科学研究費等

A：文部科学省科学研究費等における研究代表者			
年 月	題 目	分 担 者 数	発表誌（書） 発表機関名等
2005 年 4 月		2 人	文部科学省科学研究 費補助金若手 B （2005 年度～2006 年 度）課題番号 ○○○○○○○○
2011 年 4 月			文部科学省科学研究 費補助金基盤 C （2011 年度～2015 年 度）課題番号○○○○ ○○○○
B：文部科学省科学研究費等における研究分担者，又は委任経理金，受託研究における研究代表者			
年 月	題 目	代表者名と総人数	発表誌（書） 発表機関名等
2002 年 7 月		1 人	財団法人○○協会第 ○回学術研究補助金 奨励研究
2019 年 4 月		○○ ○○ 3 人	文部科学省科学研究 費補助金基盤 C（2019 年度～2020 年度）課 題番号 ○○○○○○○○

⑫学会賞

A：【国際的規模】	
年 月	受 賞 名 （ 学 会 名 ）
B：【全国的規模】	
年 月	受 賞 名 （ 学 会 名 ）
2020 年 5 月	○○学会○○○○論文賞
C：【地方的規模】	
年 月	受 賞 名 （ 学 会 名 ）

(欄外) 発行予定の論文等あれば記載する。

2. 実務業績

①専門分野の実務経験

機 関 名	職 種	期 間 (年 数)	備 考
〇〇県立〇〇小学校 〇〇県立〇〇中学校	常勤講師 教諭	2006年4月～2009年3月(3年0月) 2009年4月～2014年3月(5年0月)	

②教育関係機関又は研修センター等における教育経験

年 度	授 業 題 目	講 義 回 数
2016年度	〇〇〇〇研修	1回

③専門分野の実務に関する著述

A：編著書						
著書名	著者名	頁 数	共同執筆の場合		発行所	発 行 年
			総人数	役割		
・・・・・・・・・・	〇〇 〇〇	〇〇～ 〇〇	〇人	責任者 監修者	・・・・・・	2015年 5月
B：新聞記事・各種報告書等の著作物						
記事・報告書等名	著者名	頁 数	共同執筆の場合		発行所	発 行 年
			総人数	役割		

④実務実践に対する表彰

A：【個人表彰】 a. 国際レベルの表彰	
年 度	表 彰 題 目
A：【個人表彰】 b. 全国レベルの表彰（文部科学省等）	
年 度	表 彰 題 目
2019年度	〇〇〇〇賞
A：【個人表彰】 c. 都道府県レベルの表彰	
年 度	表 彰 題 目
A：【個人表彰】 d. 市町村レベルの表彰	
年 度	表 彰 題 目

愛教 太郎

B : 【団体表彰】 a. 国際レベルの表彰		
年 度	表 彰 題 目	人 数 ・ 役 割 (貢 献 度)
2020 年度	〇〇〇〇賞「・・・・・・研究」	共同執筆者 (30%)
B : 【団体表彰】 b. 全国レベルの表彰 (文部科学省等)		
年 度	表 彰 題 目	人 数 ・ 役 割 (貢 献 度)
B : 【団体表彰】 c. 都道府県レベルの表彰		
年 度	表 彰 題 目	人 数 ・ 役 割 (貢 献 度)
2019 年度	〇〇〇〇賞	責任者 (100%)
B : 【団体表彰】 d. 市町村レベルの表彰		
年 度	表 彰 題 目	人 数 ・ 役 割 (貢 献 度)

団体での役割及び貢献度 (%) を記入する。

⑤公的機関における審議会・委員会等での活動

国レベル	
2016 年	〇〇〇〇審議会 委員
地方公共団体レベル	
2018 年	〇〇〇〇委員会 委員

⑥その他特筆すべき実務業績

--

3. 管理運営の実績

①全学的な委員会，専門委員会，作業部会等の構成員としての役割

機 関 名	委 員 会 等 の 名 称	役 割	在 任 期 間
〇〇大学	〇〇〇委員会	委員	2020 年 4 月～現在

②特記すべき事項

機 関 名	委 員 会 等 の 名 称	役 割	在 任 期 間

4. 社会的活動等

①本学主催の教員免許状更新講習

2011 年 8 月 11 日	免許状更新講習	〇〇指導法
2020 年 9 月 1 日	免許状更新講習	〇〇の理解と支援

②本学主催の公開講座等に関する活動

2020 年 11 月 28 日	・・・・・・・・・・（公開講座等名）
------------------	--------------------

③国家試験委員等での活動（科学研究費の審査員等）

2012 年 4 月～2014 年 3 月	独立行政法人〇〇センター	〇〇委員会委員
-----------------------	--------------	---------

④日本学術会議協力学術研究団体（学会）等での役員等の活動

2020 年 4 月～現在	〇〇〇〇学会	理事
---------------	--------	----

⑤本学以外の公的機関（J S P S，J S T，J I C A等）を通じた活動

2015 年 4 月～2016 年 3 月	日本学術振興会	〇〇委員
-----------------------	---------	------

⑥公的機関の生涯学習講師，出前授業等としての活動

2018 年 5 月	〇〇市立〇〇中学校	〇〇講師
------------	-----------	------

⑦附属学校，本学センター等における社会的活動

2009 年 10 月	〇〇大学附属〇〇小学校	第〇階教育研究発表会助言者
-------------	-------------	---------------

愛教 太郎

⑧NPO等自主的組織における活動

2010年5月

⑨高等学校等での模擬授業または学習支援に関する活動

2018年6月 ○○県立○○高校 模擬授業

⑩その他の社会的活動

5. 研究・教育・社会的活動等に関する今後の計画等（１０００字程度）

6. 当該教科・科目の担当者として学校教員養成に関わる考えや抱負（１６００字以内）

「研究・教育・管理運営及び社会的活動等に係る業績一覧、今後の計画及び抱負」の記載上の注意

*作成にあたっては、必ずこの様式に従って各自で作成すること。

各欄は、スペースを変更したり該当しないところを削除する等、各自でレイアウトできるが、記載順序は入れ替えないこと。

*印刷する際には片面印刷をし、紙をまとめる際には、ホッチキス留めをせず、クリップ等を使用すること。

各項目の記載上の注意事項

*以下の各項目における業績は、発表年月の早い（古い）ものから順に西暦（〇〇〇〇年〇月）で記載すること。

1. 研究業績

●対象の業績：公募締切日までに出版・公表されている業績

*研究発表会や国際会議などの予稿集、要旨集等に掲載されたものは研究業績には含めないこと。

また、同一の業績について2ヶ所以上記載しないように注意すること。（発表誌（媒体）が異なっても1カ所のみ記載とする）

以下「役割」の欄には、a、bのいずれかの記号を記入する。記号aは本人がファーストオーサー又は執筆責任者、bはその他であることを意味する。bと記入した場合には記号の後に貢献度を%で示すこと。 記入例：b（30%）

項目	記載上の注意事項等
① 学会誌・学術誌・紀要等収載の論文	
A. 国際的学会誌・学術誌所載論文	左記項目に該当する論文について記載すること。 ○国際的学会誌・学術誌等が無い又は国内誌をしのぐ水準の学術誌等が存在しない分野においては、当該分野において高い評価を得ている学術誌等を含む。 ○日本国外で刊行されたものであっても、当該国の大学等紀要類は、Cに分類する。
B. 全国的学会誌・学術誌所載論文	左記項目に該当する論文について記載すること。
C. 大学（学部）紀要論文	左記項目に該当する論文について記載すること。
D. 地方的学会誌、大学附置施設・センター等紀要論文、講座等発行機関誌、大学以外の研究機関等紀要論文、当該分野で学術的価値が高く評価される公的機関誌所載論文	左記項目に該当する論文について記載すること。
E. （市販）啓発誌所載論文、高等学校等紀要論文	左記項目に該当する論文について記載すること。 ○助教応募の場合は、修士論文はこの欄に記載すること。

【①A～E 共通の記載上の注意事項等】

○レフリー（査読者）のある機関誌等に掲載された論文は，論文名の前に※を付すこと。

○学会機関誌等であっても，正規の論文以外のものは，原則として⑥（「①②③④⑤」以外の執筆物）へ記載すること。

② 学術書単著，学術書等収載の論文

A．学術書単著（ISBN付・書き下ろし）

左記項目に該当する業績について記載すること。

○一著述をすべて一人で新たに書き下ろしたものを対象とする。

B．後記欄の③A学術書，④A学術書，⑤影印本等に所載の新稿論文や解説・解題（学術論文に準じるもの）

左記項目に該当する業績について記載すること。

○学術論文に準じた内容のものに限る。それ以外は⑥へ掲載のこと。

C．後記欄の③B入門書等，④B入門書等に所載の新稿論文や解説・解題（学術論文に準じるもの）

左記項目に該当する業績について記載すること。

○学術論文に準じた内容のものに限る。それ以外は⑥へ掲載のこと。

③ 学術書等（ISBN付）の編集・監修

A．学術書（ISBN付）

左記項目に該当する業績について記載すること。

○刊行物に対し，全体的な責任を負う編者・監修者を対象とする。

○以下のイ，ロ，ハの編集・監修（一書にまとめ上げたもの）

イ．論文集（大系，叢書，〇〇講座等）

ロ．資料集・校注書・事典等

ハ．ISBNは付かないが，当該分野で学術的価値が高く評価される，公的機関による刊行物

B．入門書等（ISBN付）及び小中高の教科書

左記項目に該当する業績について記載すること。

○刊行物に対し，全体的な責任を負う編者・監修者を対象とする。

公的機関による，ISBNの付かない刊行物も，これに含める。（参考：「大学教科書等の執筆等」は2．教育業績（2）A）

④ 翻訳書（ISBN付）の編集・監修，翻訳論文

A．学術書レベル

左記項目に該当する業績について記載すること。

○刊行物に対し，全体的な責任を負う編者・監修者を対象とする。

B．入門書等レベル

左記項目に該当する業績について記載すること。

○刊行物に対し，全体的な責任を負う編者・監修者を対象とする。

C. 論文	左記項目に該当する業績について記載すること。 ○刊行物に対し、全体的な責任を負う翻訳者を対象とする。												
⑤ 影印本（写真複製）・復刻版（ISBN付）の編集・監修	左記項目に該当する業績について記載すること。 ○刊行物に対し、全体的な責任を負う編者・監修者を対象とする。												
⑥ ①，②，③，④，⑤以外の執筆物	○専門領域に関する学術的著述を対象とする。 例）書評，辞書・事典の項目，新聞等のコラム，小中高の教科書教材等 ○科研費の成果報告書も対象とするが，別途，論文・著書等として公刊された場合は，公刊された著作物を①②（学術論文）の対象として，当該報告書については対象外とする。												
⑦実技・作品発表													
A. 国際的規模 <table border="1"> <tr> <td>a. 最高賞受賞・優勝</td><td rowspan="3"> 国際的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。 ○国際的な実技・作品発表等が存在しない分野，あるいは国内における実技・作品発表が国際的な水準に勝る分野では，当該分野において高い評価を得ている競技会，演奏会，展覧会を含む。 </td></tr> <tr> <td>b. 入賞・ファイナリスト</td></tr> <tr> <td>c. 上記以外のもの</td></tr> </table> B. 全国的規模 <table border="1"> <tr> <td>a. 最高賞受賞・優勝</td><td rowspan="3"> 全国的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。 </td></tr> <tr> <td>b. 入賞・ファイナリスト</td></tr> <tr> <td>c. 上記以外のもの</td></tr> </table> C. 地方的規模 <table border="1"> <tr> <td>a. 最高賞受賞・優勝</td><td rowspan="3"> 地方的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。 </td></tr> <tr> <td>b. 入賞・ファイナリスト</td></tr> <tr> <td>c. 上記以外のもの</td></tr> </table>		a. 最高賞受賞・優勝	国際的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。 ○国際的な実技・作品発表等が存在しない分野，あるいは国内における実技・作品発表が国際的な水準に勝る分野では，当該分野において高い評価を得ている競技会，演奏会，展覧会を含む。	b. 入賞・ファイナリスト	c. 上記以外のもの	a. 最高賞受賞・優勝	全国的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。	b. 入賞・ファイナリスト	c. 上記以外のもの	a. 最高賞受賞・優勝	地方的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。	b. 入賞・ファイナリスト	c. 上記以外のもの
a. 最高賞受賞・優勝	国際的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。 ○国際的な実技・作品発表等が存在しない分野，あるいは国内における実技・作品発表が国際的な水準に勝る分野では，当該分野において高い評価を得ている競技会，演奏会，展覧会を含む。												
b. 入賞・ファイナリスト													
c. 上記以外のもの													
a. 最高賞受賞・優勝	全国的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。												
b. 入賞・ファイナリスト													
c. 上記以外のもの													
a. 最高賞受賞・優勝	地方的規模の大会，展覧会等の左記項目に該当する業績について記載すること。												
b. 入賞・ファイナリスト													
c. 上記以外のもの													

⑧ 口頭・ポスター発表

A. 国際的規模の発表実績

左記項目に該当する学会・研究会における発表実績について記載すること。

B. 全国的規模の発表実績

○口頭発表者あるいは責任発表者となったものを対象とする。

C. 地方的規模の発表実績

○①②（学術論文）に記載した内容を発表したものについても記載できる。

⑨ 講演・シンポジスト等

A. 国際的規模の講演実績

左記項目に該当する学会・研究会における講演実績について記載すること。

B. 全国的規模の講演実績

C. 地方的規模の講演実績

○A, B, Cは, 責任講演者となったものを対象とする。

D. シンポジウムなどの企画・司会等の実績

⑩ 学位（博士）

博士の学位について記載すること。

⑪ 科学研究費等

A. 文部科学省科学研究費等における研究代表者

左記項目に該当する業績について記載すること。

B. 文部科学省科学研究費等における研究分担者
委任経理金, 受託研究における研究代表者

⑫ 学会賞

A. 国際的規模

B. 全国的規模

左記項目に該当する学会賞について記載すること。

C. 地方的規模

（欄外）

論文等発行予定のものを記載すること。

2. 実務業績

●対象の業績：公募締切日までの業績

項目	記載上の注意事項等
① 専門分野の実務経験	実務経験について、機関名・職種・期間を記載すること。
② 教育関係機関又は研修センター等における教育経験	教育関係機関，企業，病院，保育所，その他の施設での研修・講座等の経験を記載すること。
③ 専門分野の実務に関する著述	A. 編著書 B.新聞記事・各種報告書等の著作物 単著又は刊行物に対し，全体的な責任を負う編者・監修者を対象とする。 左記項目に該当する著作物について記載すること。
④ 実務実践に対する表彰	A. 個人表彰 B. 団体表彰 a. 国際レベルの表彰 b. 全国レベルの表彰（文部科学省等） c. 都道府県レベルの表彰 d. 市町村レベルの表彰 左記項目に該当する表彰について記載すること。
⑤ 公的機関における審議会・委員会等での活動	国レベル 地方公共団体レベル 左記項目に該当する活動について記載すること。
⑥ その他特筆すべき実務業績	左記項目に該当する業績について記載すること。

3. 管理運営の実績

* 本学又は勤務校での管理運営に関わった活動の実績を記載すること。

委員会，専門委員会，作業部会等を対象とする。

●対象の業績：公募締切日までの業績

項目	記載上の注意事項等
① 全学的な委員会，専門委員会，作業部会等の構成員としての役割	左記項目に該当する実績について記載すること。
② 特記すべき事項	左記項目に該当する実績について記載すること。

4. 社会的活動等

●対象の業績：公募締切日までの業績

* 以下，①～⑩について，名称，役割（具体的活動），任期等を記載すること。

* 採用人事で当書式に記載する場合に，応募者は，「記載上の注意事項等」欄に記載のように読み替えること。

項目	記載上の注意事項等
① 本学主催の教員免許状更新講習	○採用の場合は、「本学主催」を「応募者所属大学主催」に読み替える。
② 本学主催の公開講座等に関する活動	○採用の場合は、「本学主催」を「応募者所属大学主催」に読み替える。
③ 国家試験委員等での活動（科学研究費の審査員等）	
④ 日本学術会議協力学術研究団体（学会）等での役員等の活動	
⑤ 本学以外の公的機関（JSPS，JST，JICA等）を通じた活動	○採用の場合は、「本学以外の」を「応募者所属大学以外の」と読み替える。
⑥ 公的機関の生涯学習講師，出前授業等としての活動	
⑦ 附属学校，本学センター等における社会的活動	○採用の場合は、「附属学校，本学センター等」を「応募者所属大学の附属学校，センター等」と読み替える。
⑧ NPO等自主的組織における活動	
⑨ 高等学校等での模擬授業または学習支援に関する活動	
⑩ その他社会的活動	

5. 研究・教育・社会的活動等に関する今後の計画等

研究・教育・社会的活動等項目について、合計1,000字程度記載すること。

6. 当該教科・科目の担当者として学校教員養成に関わる考えや抱負

1,600字以内で記載すること。